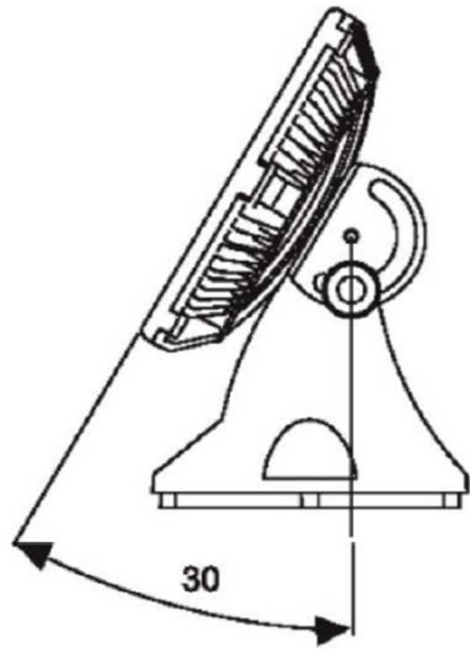
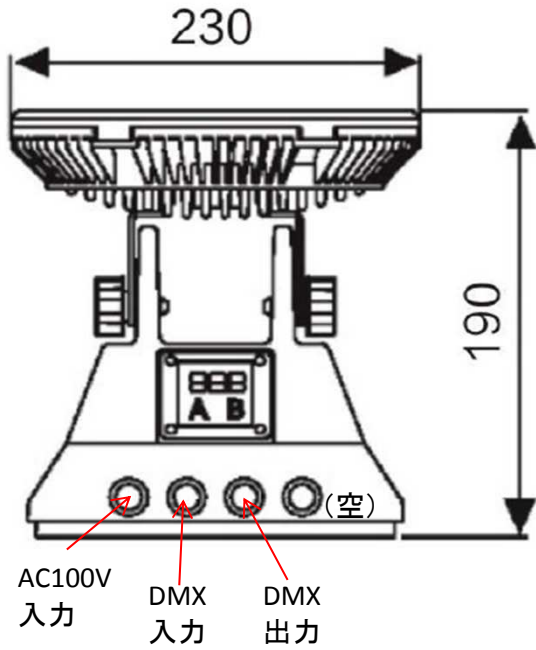


RGBW 投光器 (LWW-6-18×4W-RGBW) 取扱い説明書



A. Structure and Specification

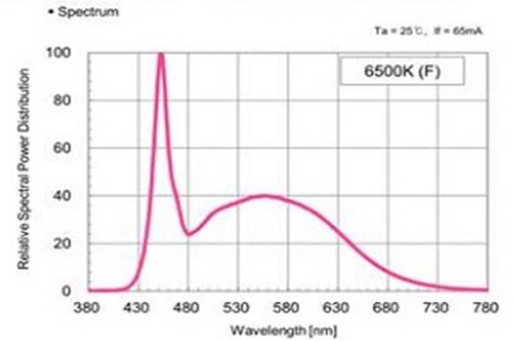
Material of Shell: Aluminum alloy
Rotary angle: 150°

B. Technical Parameters

Input Voltage: 100V~256V AC
Operating Voltage: 24V DC
Protection Rating: IP65
Operating Temperature: -20°C~65° °C
LENS: □15° □25° □45°
LED Quantity: 18 Powers LED/4W
Color: RGBW 4in1
Power Consumption: 72 Watts
Net Weight: 4.4kgs

* 各LEDの発光波長は、固定です。

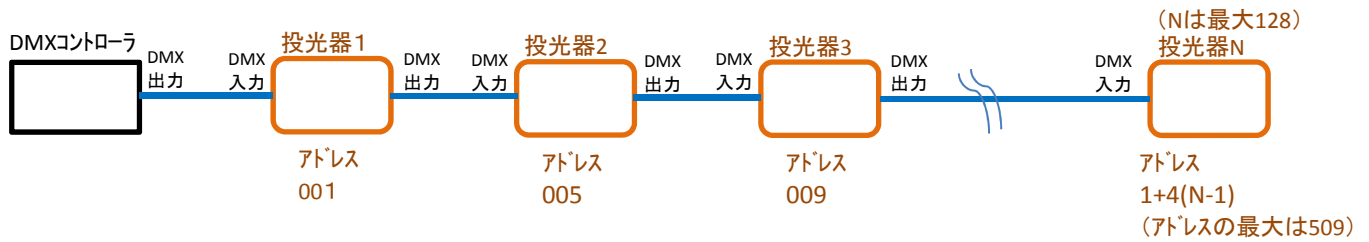
R: 665nm typ
G: 565nm typ
B: 447nm typ
W: 6000K~6500k 下記白色LEDの波長分布



この投光器は、大きく分けて、2つの動作モードがあります。

- ① DMX動作 モード (DMXコントローラからの点灯信号で点灯動作します。)
- ② 単独動作 モード (各投光器は、完全に単独で動作します。)
- ②' 単独動作 主従 モード (親投光器は、単独動作し、その他の投光器は、親投光器と同じ動作をします。)

① DMX動作 モード : 各灯光器は、DMXコントローラより、送信される点灯信号により点灯します。



・DMXコントローラは、灯光器1、灯光器2、灯光器3、、、灯光器N を区別しなければなりません。
その為、各灯光器には、識別の為、アドレスを設定します。

・DMXコントローラより出力される、各灯光器用の独立した点灯信号は、各灯光器に、入力されます。

・DMXコントローラにより、各灯光器の、R,G,B,w の発光強度を0~255 段階で設定できます。

たとえば、R=20、G=10、B=255、W=100 など。 → 全部で256×256×256×256 色の 設定が出来ます。

設定値は、各灯光器毎に独立して設定できます。



DMX 動作モードの時は、3ケタの LEDの表示が、アドレス(001~509)となります。



②単独動作モード：各灯光器は、単独で動作します。（各灯光器の動作設定は、各灯光器毎に、ボタンA,Bで設定します。）

3ケタのLED表示は P □ □ となります。アドレスの設定は必要ありません。又 DMXコントロールも不要です。



台数の制限はありません。



単独動作
↓

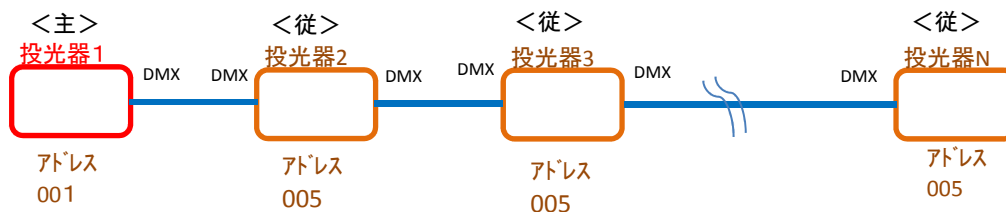
3ケタのLED表示 P X Y

X	点灯色（点灯LED）	Y 発光強度、切替速度
1	赤	1～9 で 9段階の強度設定
2	緑	1～9 で ”
3	青	1～9 で ”
4	黄（赤+緑）	1～9 で ”
5	紫（青+赤）	1～9 で ”
6	水（緑+青）	1～9 で ”
7	白	1～9 で ”
8	白 赤	1～9 で ”
9	白 緑	1～9 で ”
A	白 青	1～9 で ”
B	白 黄（赤+緑）	1～9 で ”
C	白 紫（青+赤）	1～9 で ”
D	白 水（緑+青）	1～9 で ”
E	全色 切り替え	1～9 で 9段階の速度設定
F	単色（1～7）フェード切り替え	1～9 で ↑
G	8～D フェード切り替え	1～9 で ↑
H	全色 フラッシュ切り替え	1～9 で ↑
J	E～H の 自動実行	

注意）赤と緑と青と白の発光強度を 独立して設定し、同時に点灯させる機能がありません。

②' 単独動作主従 モード' : 親器を単独動作設定し、他の投光器は親器と同じ動作をします。→DMXコントロールは使用しません。

- ・親器を単独動作設定するには、親器のアドレスを '001' に設定します。
- ・他の投光器は、001以外のアドレスに設定します。→001以外であればOKで、他の投光器全部を005に設定してもOKです。



親器の単独動作設定を②単独動作モード設定に従い「P11」等に設定したら、他の投光器は親器と同じ「P11」動作をします。

<アドレス設定と点灯機能設定の仕方>

- ・アドレスの設定と、点灯機能の設定は、3ケタのLED表示に「アドレス」、「機能」を表示させる事により行います。
- ・表示の設定は、Aボタン、Bボタンにより各桁のLED表示値を指定する事により行います。

<アドレス 005 の表示例>



<点灯機能 11 の表示例>



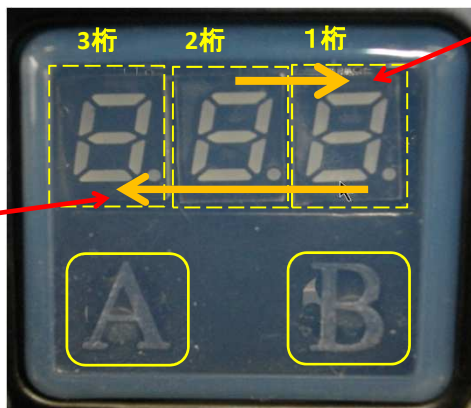
・投光器の電源投入時の表示は、アドレス表示となります。(一度設定した、アドレス表示と機能表示は、記憶されています。)

ボタンA : アドレス表示⇄機能表示 の切り替え を実行します。
 選択桁(点滅桁) の移動 を実行します。

アドレス表示の時の選択桁(点滅桁)の移動向き



アドレス表示の時の選択桁が3桁目の時にAボタンを押すと、機能表示に移行します。



機能表示の時の選択桁(点滅桁)の移動向き



機能表示の時の選択桁が、1桁目の時にAボタンを押すと、アドレス表示に移行します。

ボタンB : 点滅桁(選択桁)の値をアップさせます。

* 最後に選択した桁を記憶していますので、点滅していない場合も、ボタンを押すと、最後に選択した桁が点滅します。